

久万高原町

み かわ しょう がっ こう
美 川 小 学 校



中予地方局農村整備第一・二課

1. 生き物教室の概要 (がいよう)

開催日時：平成27年7月14日(火) 8:30~:12:00

開催場所：久万高原町美川地区

講師：愛媛大学 農学部 日鷹 一雅 准教授

参加者：久万高原町立美川小学校

児童(1~6年生) 22名

校長・教頭・教員 6名

ふるさと水と土指導員 仲田 正 秋岡 健悟

愛媛県中予地方局農村整備第一課 7名

愛媛県中予地方局農村整備第二課 1名

久万高原町建設課 4名

水土里ネット愛媛 4名



美川地区

2. 地区の概要 (がいよう)

美川地区は、久万高原町のほぼ中央部に位置し、面河川と久万川に沿い、標高1000mを超える四国山地に囲まれた山間地域です。

基幹産業は農林業であり、夏季冷涼な気象条件を活かしたトマト・イチゴ・ピーマン等の野菜や茶が栽培されています。



美川小学校は、平成14年度の学校統合(二籠小、黒藤川小、美川西小、美川南小の4校)により開校しました。学校の歴史は浅いものの、学校や家庭、地域の連携のもと、ふるさとの自然や歴史、文化に親しむ特色ある教育活動を行っており、「**み**かわは**か**けがえのない**わ**がふるさと」を合言葉に、美川小が大好きで、ふるさと美川を愛し、心から誇りに思う美川っ子の育成にあたり、久万高原町の一員としての郷土意識を育てる学校づくりに取り組んでいます。



美川小学校

3. 生き物教室の内容

今回の生き物教室は、総合的な学習・生活科の学習の一環として美川小学校全学年の児童22名を対象に、先生やスタッフなど合わせて47名で実施されました。

学校から調査箇所にバスで移動し、日鷹准教授から、お話を聞いた後、子供たちは4班に分かれ、水田やその周辺の水路、大川で生き物を採集しました。



○日鷹先生のお話(愛媛大学 日鷹一雅 准教授)

今日はこの周辺で採集します。いろんなところにいろいろ生き物はいますが、みなさんはどこでどんな生き物を捕ったかということは覚えていてくださいね。簡単には取れない珍しい生き物もいるかもしれませんが、がんばってそして楽しく捕りましょう。



さいしゅう
○生き物採集

水田や付近の水路で、捕まえた生き物は、トノサマガエル、ニホンアマガエル、ヒナバッタ、アメンボ、飛んでいる昆虫では、モンシロチョウ、ウスバキトンボなどでした。



大川では、イモリ、タカハヤ、ガムシ、サワガニなどがとれました。



○生き物の名前調べ（^{どうてい}同定）、^{かんさつ}観察

^{げんち}現地で捕った生き物を持ち帰り、^{すかん}図鑑で^{かくにん}確認したり、^{ひだか}日鷹先生やスタッフなどに聞きながら^{しんけん}真剣に調べました。そして、それぞれ自分の^{きょうみ}興味のある生き物を選んで、^{かんさつ}観察カードに^{きろく}記録しました。



○^{ひだか}日鷹先生の授業

^{ひだか}日鷹先生からは、まずここ（美川）は自然に^{めく}恵まれた所でみんなは山の子だということ、生き物は大切にしようとお話がありました。

そして、「本来田んぼに^す棲んでいる生き物がなぜ川で捕れたのか？それは田んぼと川は水路などでつながっていて、田んぼに水がなくなると^{いどう}移動していること」など、子供たちは生き物のおもしろさと^{ふしぎ}不思議さを学びました。



○校長先生のお話

みなさんにとって、自然は当たり前だったか
もしれません。でも今日調べてみて、みんなの
周りにたくさんの生き物がいることを改めて
勉強できたのではないかと思います。それと日
鷹先生がほめてくださいましたが、校長先生が
思っていた以上に自然のことについてお家の
人や周りの人にいろんなことを教えてもらっ
ていて、よく知っていたのでとてもうれしく思
いました。

もうすぐ夏休みになります。ぜひ今日のことを思い出して美川の自然について、もっと
もっと知るきっかけにしてもらったらと思います。

みな様、今日は本当にありがとうございました。



4. おわりに

美川小学校の里山に囲まれた自然豊かな環境で、たくさんの自然にふれあう機会を持っ
ていた子供たちですが、今回の生き物教室のような専門の先生に教えていただく機会は
貴重な体験であり、いつもとは違った視点での生き物や自然との触れ合いに子供たちは
興味津々といった様子で目を輝かしていました。

子供たちの身近な環境にすむ見たことのない生き物への興味は、同時に里山への興味に
もつながり、ふるさと自然や環境・文化を大切にする心を育む意味のある体験学習だ
ったと思います。

